

問題 1

【火災予防・消火・取扱い】「冷却消火」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
- 2. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
- 3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
- 4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

解答・解説

正解：2. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 2

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」

- 1. 泡消火
- 2. 粉末消火
- 3. 冷却消火
- 4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：3. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 3

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 粉末消火
2. 二酸化炭素消火
3. 霧状注水
4. 冷却消火

解答・解説

正解：4. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 4

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「冷却消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

解答・解説

正解：1. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 5

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 霧状注水
2. 冷却消火
3. 換気管理
4. 温度管理

解答・解説

正解：2. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 6

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」

1. 換気管理
2. 温度管理
3. 冷却消火
4. 混載防止

解答・解説

正解：3. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 7

【火災予防・消火・取扱い】「冷却消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

- 1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
- 2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
- 3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
- 4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 8

【火災予防・消火・取扱い】「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 冷却消火
- 2. 混載防止
- 3. 窒息消火
- 4. 除去消火

解答・解説

正解：1. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 9

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「冷却消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。
1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
 2. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
 3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
 4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：2. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 10

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」を表す用語はどれか。
1. 除去消火
 2. 泡消火
 3. 冷却消火
 4. 粉末消火

解答・解説

正解：3. 冷却消火

正解は「冷却消火」。冷却消火は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 11

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「冷却消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○
○です。「冷却消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 12

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「冷却消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「冷却消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。問題文は「粉末消火」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 13

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「冷却消火」とは、細かな水滴で冷却等を図る消火方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「冷却消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 14

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」という説明は「冷却消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「冷却消火」の中心的な意味を表しています。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 15

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「冷却消火」を学ぶ際は、「燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法」という役割・特徴を押さえることが重要である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「冷却消火」の代表的な役割・特徴は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 16

【火災予防・消火・取扱い】「窒息消火」の説明として最も適切なものはどれか。

1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
2. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

解答・解説

正解：3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 17

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」

1. 霧状注水
2. 換気管理
3. 温度管理
4. 窒息消火

解答・解説

正解：4. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 18

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 窒息消火
2. 換気管理
3. 温度管理
4. 混載防止

解答・解説

正解：1. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 19

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「窒息消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 20

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 混載防止
2. 冷却消火
3. 窒息消火
4. 除去消火

解答・解説

正解：3. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 21

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」

1. 冷却消火
2. 除去消火
3. 泡消火
4. 窒息消火

解答・解説

正解：4. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 22

【火災予防・消火・取扱い】「窒息消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

解答・解説

正解：1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 23

【火災予防・消火・取扱い】「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

1. 泡消火
2. 窒息消火
3. 粉末消火
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：2. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 24

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「窒息消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 25

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」を表す用語はどれか。

1. 二酸化炭素消火
2. 霧状注水
3. 換気管理
4. 窒息消火

解答・解説

正解：4. 窒息消火

正解は「窒息消火」。窒息消火は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 26

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「窒息消火」は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「窒息消火」は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 27

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「窒息消火」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「窒息消火」は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。問題文は「換気管理」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 28

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「窒息消火」とは、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「窒息消火」は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 29

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法」という説明は「窒息消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「窒息消火」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 30

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「窒息消火」の代表的な説明は「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「窒息消火」は、酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法。問題文は別の概念を示しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 31

【火災予防・消火・取扱い】「除去消火」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
- 2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
- 3. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
- 4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

解答・解説

正解：4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 32

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」

- 1. 除去消火
- 2. 混載防止
- 3. 冷却消火
- 4. 窒息消火

解答・解説

正解：1. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 33

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 冷却消火
2. 除去消火
3. 窒息消火
4. 泡消火

解答・解説

正解：2. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 34

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「除去消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
2. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

解答・解説

正解：3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 35

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 泡消火
2. 粉末消火
3. 二酸化炭素消火
4. 除去消火

解答・解説

正解：4. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 36

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」

1. 除去消火
2. 粉末消火
3. 二酸化炭素消火
4. 霧状注水

解答・解説

正解：1. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 37

- 【火災予防・消火・取扱い】「除去消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
- 1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
 - 2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
 - 3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
 - 4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策

解答・解説

正解：2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 38

- 【火災予防・消火・取扱い】「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
- 1. 霧状注水
 - 2. 換気管理
 - 3. 除去消火
 - 4. 温度管理

解答・解説

正解：3. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 39

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「除去消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策
2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

解答・解説

正解：4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 40

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」を表す用語はどれか。

1. 除去消火
2. 温度管理
3. 混載防止
4. 冷却消火

解答・解説

正解：1. 除去消火

正解は「除去消火」。除去消火は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 41

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「除去消火」は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○
○です。「除去消火」は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 42

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「除去消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「除去消火」は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。問題文は「冷却消火」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 43

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「除去消火」とは、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「除去消火」は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 44

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」という説明は「除去消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「除去消火」の中心的な意味を表しています。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 45

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「除去消火」を学ぶ際は、「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」という役割・特徴を押さえることが重要である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「除去消火」の代表的な役割・特徴は、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 46

【火災予防・消火・取扱い】「泡消火」の説明として最も適切なものはどれか。

1. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

解答・解説

正解：1. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 47

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」

1. 除去消火
2. 泡消火
3. 粉末消火
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：2. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 48

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 粉末消火
2. 二酸化炭素消火
3. 泡消火
4. 霧状注水

解答・解説

正解：3. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 49

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「泡消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
 2. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
 3. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策
 4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 50

- 【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」に最も直接対応する用語はどれか。
1. 泡消火
 2. 霧状注水
 3. 換気管理
 4. 温度管理

解答・解説

正解：1. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 51

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」

1. 換気管理
2. 泡消火
3. 温度管理
4. 混載防止

解答・解説

正解：2. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 52

【火災予防・消火・取扱い】「泡消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 53

【火災予防・消火・取扱い】「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

1. 混載防止
2. 冷却消火
3. 窒息消火
4. 泡消火

解答・解説

正解：4. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 54

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「泡消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
2. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
3. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

解答・解説

正解：1. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 55

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」を表す用語はどれか。

1. 窒息消火
2. 泡消火
3. 除去消火
4. 粉末消火

解答・解説

正解：2. 泡消火

正解は「泡消火」。泡消火は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 56

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「泡消火」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「泡消火」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 57

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「泡消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「泡消火」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。問題文は「粉末消火」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 58

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「泡消火」とは、細かな水滴で冷却等を図る消火方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「泡消火」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 59

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法」という説明は「泡消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「泡消火」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 60

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「泡消火」の代表的な説明は「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「泡消火」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。問題文は別の概念を示しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 61

【火災予防・消火・取扱い】「粉末消火」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
- 2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
- 3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
- 4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

解答・解説

正解：2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 62

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」

- 1. 霧状注水
- 2. 換気管理
- 3. 粉末消火
- 4. 温度管理

解答・解説

正解：3. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 63

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 換気管理
2. 温度管理
3. 混載防止
4. 粉末消火

解答・解説

正解：4. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 64

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「粉末消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 65

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 混載防止
2. 粉末消火
3. 冷却消火
4. 窒息消火

解答・解説

正解：2. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 66

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」

1. 冷却消火
2. 窒息消火
3. 粉末消火
4. 除去消火

解答・解説

正解：3. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 67

- 【火災予防・消火・取扱い】「粉末消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
 2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
 3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
 4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

解答・解説

正解：4. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 68

- 【火災予防・消火・取扱い】「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 粉末消火
 2. 除去消火
 3. 泡消火
 4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：1. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 69

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「粉末消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 70

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」を表す用語はどれか。

1. 二酸化炭素消火
2. 霧状注水
3. 粉末消火
4. 換気管理

解答・解説

正解：3. 粉末消火

正解は「粉末消火」。粉末消火は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 71

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「粉末消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○
○です。「粉末消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 72

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「粉末消火」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「粉末消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。問題文は「換気管理」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 73

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「粉末消火」とは、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「粉末消火」は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 74

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」という説明は「粉末消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「粉末消火」の中心的な意味を表しています。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 75

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「粉末消火」を学ぶ際は、「粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法」という役割・特徴を押さえることが重要である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「粉末消火」の代表的な役割・特徴は、粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 76

【火災予防・消火・取扱い】「二酸化炭素消火」の説明として最も適切なものはどれか。

1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 77

- 【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」
1. 混載防止
 2. 冷却消火
 3. 窒息消火
 4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：4. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 78

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」という意味をもつ概念はどれか。
1. 二酸化炭素消火
 2. 冷却消火
 3. 窒息消火
 4. 除去消火

解答・解説

正解：1. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 79

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「二酸化炭素消火」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
 2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
 3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
 4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 80

- 【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」に最も直接対応する用語はどれか。
1. 除去消火
 2. 泡消火
 3. 二酸化炭素消火
 4. 粉末消火

解答・解説

正解：3. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 81

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」

1. 泡消火
2. 粉末消火
3. 霧状注水
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：4. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 82

【火災予防・消火・取扱い】「二酸化炭素消火」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策

解答・解説

正解：1. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 83

【火災予防・消火・取扱い】「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 霧状注水
- 2. 二酸化炭素消火
- 3. 換気管理
- 4. 温度管理

解答・解説

正解：2. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 84

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「二酸化炭素消火」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策
- 2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
- 3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
- 4. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

解答・解説

正解：3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 85

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」を表す用語はどれか。

1. 温度管理
2. 混載防止
3. 冷却消火
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：4. 二酸化炭素消火

正解は「二酸化炭素消火」。二酸化炭素消火は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 86

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「二酸化炭素消火」は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「二酸化炭素消火」は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 87

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「二酸化炭素消火」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「二酸化炭素消火」は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。問題文は「冷却消火」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 88

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「二酸化炭素消火」とは、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「二酸化炭素消火」は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 89

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法」という説明は「二酸化炭素消火」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「二酸化炭素消火」の中心的な意味を表しています。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 90

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「二酸化炭素消火」の代表的な説明は「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「二酸化炭素消火」は、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法。問題文は別の概念を示しています。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 91

【火災予防・消火・取扱い】「霧状注水」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
- 2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
- 3. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
- 4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 92

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」

- 1. 霧状注水
- 2. 除去消火
- 3. 泡消火
- 4. 粉末消火

解答・解説

正解：1. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 93

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」という意味をもつ概念はどれか。

1. 泡消火
2. 霧状注水
3. 粉末消火
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：2. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 94

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「霧状注水」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

解答・解説

正解：3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 95

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. 二酸化炭素消火
- 2. 換気管理
- 3. 温度管理
- 4. 霧状注水

解答・解説

正解：4. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 96

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」

- 1. 霧状注水
- 2. 換気管理
- 3. 温度管理
- 4. 混載防止

解答・解説

正解：1. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 97

- 【火災予防・消火・取扱い】「霧状注水」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
 2. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
 3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
 4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：2. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 98

- 【火災予防・消火・取扱い】「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 混載防止
 2. 冷却消火
 3. 霧状注水
 4. 窒息消火

解答・解説

正解：3. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 99

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「霧状注水」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 100

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」を表す用語はどれか。

1. 霧状注水
2. 窒息消火
3. 除去消火
4. 泡消火

解答・解説

正解：1. 霧状注水

正解は「霧状注水」。霧状注水は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 101

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「霧状注水」は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○
○です。「霧状注水」は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 102

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「霧状注水」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「霧状注水」は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。問題文は「泡消火」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 103

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「霧状注水」とは、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「霧状注水」は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。別概念との取り違えに注意してください。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 104

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」という説明は「霧状注水」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「霧状注水」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 105

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「霧状注水」を学ぶ際は、「細かな水滴で冷却等を図る消火方法」という役割・特徴を押さえることが重要である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「霧状注水」の代表的な役割・特徴は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 106

【火災予防・消火・取扱い】「換気管理」の説明として最も適切なものはどれか。

1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策
2. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 107

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策」

1. 二酸化炭素消火
2. 換気管理
3. 霧状注水
4. 温度管理

解答・解説

正解：2. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 108

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策」という意味をもつ概念はどれか。

1. 霧状注水
2. 温度管理
3. 換気管理
4. 混載防止

解答・解説

正解：3. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 109

- 【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「換気管理」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
 2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
 3. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
 4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策

解答・解説

正解：4. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 110

- 【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策」に最も直接対応する用語はどれか。
1. 換気管理
 2. 混載防止
 3. 冷却消火
 4. 窒息消火

解答・解説

正解：1. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 111

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策」

1. 冷却消火
2. 換気管理
3. 窒息消火
4. 除去消火

解答・解説

正解：2. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 112

【火災予防・消火・取扱い】「換気管理」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するのはどれか。

1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
3. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策
4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：3. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 113

【火災予防・消火・取扱い】「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

1. 除去消火
2. 泡消火
3. 粉末消火
4. 換気管理

解答・解説

正解：4. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 114

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「換気管理」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策
2. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法
3. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
4. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法

解答・解説

正解：1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 115

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策」を表す用語はどれか。

1. 粉末消火
2. 換気管理
3. 二酸化炭素消火
4. 霧状注水

解答・解説

正解：2. 換気管理

正解は「換気管理」。換気管理は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 116

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「換気管理」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「換気管理」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 117

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「換気管理」は、細かな水滴で冷却等を図る消火方法。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「換気管理」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。問題文は「霧状注水」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 118

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「換気管理」とは、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策ことをいう。
○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×
×です。「換気管理」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 119

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策」という説明は「換気管理」に対応する。

○ / × で教えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「換気管理」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 120

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「換気管理」の代表的な説明は「可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法」である。

○ / × で教えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「換気管理」は、可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策。問題文は別の概念を示しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 121

【火災予防・消火・取扱い】「温度管理」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気形成を抑える対策
- 2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
- 3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
- 4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 122

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」

- 1. 混載防止
- 2. 冷却消火
- 3. 温度管理
- 4. 窒息消火

解答・解説

正解：3. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 123

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」という意味をもつ概念はどれか。

1. 冷却消火
2. 窒息消火
3. 除去消火
4. 温度管理

解答・解説

正解：4. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 124

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「温度管理」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
3. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：1. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 125

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 除去消火
2. 温度管理
3. 泡消火
4. 粉末消火

解答・解説

正解：2. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 126

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」

1. 泡消火
2. 粉末消火
3. 温度管理
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：3. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 127

- 【火災予防・消火・取扱い】「温度管理」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
 2. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
 3. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
 4. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策

解答・解説

正解：4. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 128

- 【火災予防・消火・取扱い】「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 温度管理
 2. 二酸化炭素消火
 3. 霧状注水
 4. 換気管理

解答・解説

正解：1. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 129

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「温度管理」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法
2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
3. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策
4. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

解答・解説

正解：2. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 130

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」を表す用語はどれか。

1. 換気管理
2. 混載防止
3. 温度管理
4. 冷却消火

解答・解説

正解：3. 温度管理

正解は「温度管理」。温度管理は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 131

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「温度管理」は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。

○ / × で教えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「温度管理」は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 132

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「温度管理」は、燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法。

○ / × で教えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「温度管理」は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。問題文は「冷却消火」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 133

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「温度管理」とは、可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「温度管理」は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。別概念との取り違えに注意してください。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 134

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」という説明は「温度管理」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「温度管理」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 135

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「温度管理」を学ぶ際は、「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」という役割・特徴を押さえることが重要である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「温度管理」の代表的な役割・特徴は、危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 136

【火災予防・消火・取扱い】「混載防止」の説明として最も適切なものはどれか。

1. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
2. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法
3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
4. 泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法

解答・解説

正解：3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 137

【火災予防・消火・取扱い】次の説明に該当する用語はどれか。「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」

1. 除去消火
2. 泡消火
3. 粉末消火
4. 混載防止

解答・解説

正解：4. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 138

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」という意味をもつ概念はどれか。

1. 混載防止
2. 泡消火
3. 粉末消火
4. 二酸化炭素消火

解答・解説

正解：1. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 139

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いで扱う「混載防止」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 粉末消火薬剤の抑制作用等を利用して消火する方法
2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
3. 二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法
4. 細かな水滴で冷却等を図る消火方法

解答・解説

正解：2. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 140

【火災予防・消火・取扱い】実務・試験上、「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 二酸化炭素消火
2. 霧状注水
3. 混載防止
4. 換気管理

解答・解説

正解：3. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 141

【火災予防・消火・取扱い】次の機能・特徴を表すものを選べ。「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」

1. 霧状注水
2. 換気管理
3. 温度管理
4. 混載防止

解答・解説

正解：4. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 142

【火災予防・消火・取扱い】「混載防止」を確認する。次のうち定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
2. 可燃性蒸気の滞留を防いで爆発性雰囲気の形成を抑える対策
3. 危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策
4. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法

解答・解説

正解：1. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 143

【火災予防・消火・取扱い】「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 温度管理
- 2. 混載防止
- 3. 冷却消火
- 4. 窒息消火

解答・解説

正解：2. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 144

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの学習で「混載防止」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 燃焼物の温度を下げ発火に必要な熱を奪う消火方法
- 2. 酸素供給を減らして燃焼を継続できなくする消火方法
- 3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策
- 4. 可燃物を取り除き燃焼の継続を断つ消火方法

解答・解説

正解：3. 相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 145

【火災予防・消火・取扱い】火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」を表す用語はどれか。

1. 窒息消火
2. 除去消火
3. 泡消火
4. 混載防止

解答・解説

正解：4. 混載防止

正解は「混載防止」。混載防止は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。名称だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 146

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「混載防止」は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。「混載防止」は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 147

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「混載防止」は、泡で液面を覆い蒸気発生と酸素供給を抑える消火方法。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「混載防止」は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。問題文は「泡消火」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 148

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いにおいて「混載防止」とは、二酸化炭素で酸素濃度を低下させるなどして消火する方法ことをいう。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「混載防止」は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。別概念との取り違えに注意してください。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 149

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。火災予防・消火・取扱いの基本事項として、「相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策」という説明は「混載防止」に対応する。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：○

○です。この説明は「混載防止」の中心的な意味を表しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 150

【火災予防・消火・取扱い】次の記述は正しいか。「混載防止」の代表的な説明は「危険物を過度に加熱しないよう保管・取扱温度を管理する対策」である。

○ / × で答えてください。

解答・解説

正解：×

×です。「混載防止」は、相互作用で危険が増す物質を不適切に混載・接触させない対策。問題文は別の概念を示しています。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。